



第33回 奥多摩町海外派遣事業



奥多摩の教育

第245号
発行
奥多摩町教育委員会



町公式ホームページ

令和8年9月1日現在
児童数 122名
生徒数 64名
教職員数 51名



中高生12名を引率してオーストラリアのニューサウスウェールズ州バイロンベイに行ってきました。バイロンベイはオーストラリア最東端の港町です。広大な砂浜と美しい海が広がる風光明媚なポイントに派遣生がお世話になった学校バイロンベイハイスクールがあります。期間中、子供たちはホームステイを経験し、現地の子供たちと共に通学、学習、行事の体験をしました。景勝地やテーマパーク等に出向いたことも勿論ですが、一番の思い出は恐らく現地の方との触れ合い、そして習慣や文化の違いを経験したことかと思います。今後の学校生活ひいては自己の生き方に生かしていったほしいと願っています。

海外派遣団長 乙津 秀敏（古里小学校長）

奥多摩中学校での「総合的な学習の時間」の授業紹介

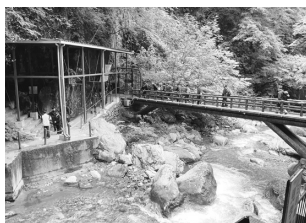
奥多摩アクティビティ

1年生 日原鍾乳洞

6月5日、「地元・奥多摩の自然や文化にふれ、地域のよさを再認識するとともに、地域の一人としての自覚を育てること」を目的に、1年生は日原鍾乳洞を訪れました。

当日は肌寒く、あいにくの天候でしたが、太古の昔から膨大な時間をかけて作り出された神秘的な姿に、感動しながら見学することができました。生徒からは、「初めての鍾乳洞はとても不思議で綺麗だった。」「久しぶりに見学したが、何度見ても見応えがあった。」などの感想があり魅力を十分に感じ取れたようです。また、鍾乳洞内は年中涼しいということで、「真夏にまた来たい。」という声も聞かれました。

担当 奥山 悟



2年生 職場体験

6月2、4、5日の3日間、奥多摩町および青梅市の事業所のご協力をいただき、職場体験学習を実施しました。

生徒たちは実際の仕事を体験することで、仕事のやりがいや責任を感じるとともに、地域で働く方々の思いにふれる貴重な機会となりました。

体験後には、「大変だったけれど、お客さんの笑顔を見られることが嬉しかった。」「働くことは自分のためだけでなく、周りの人のためにもなることが分かった。」といった感想が聞かれ、働くことの意義を実感する学びとなりました。



〔職場体験 体験先一覧〕

事業所名	事業所名
奥多摩AUBA	奥多摩温泉もえぎの湯
奥多摩の風 はとのす荘	奥多摩の台所
沿線まるごと株式会社	カフェ山鳩
釜めし ない	弘美堂
社会福祉法人正光会 古里保育園	社会福祉法人双葉会 氷川保育園
だしまき玉子専門店 卯道	手造り工房 四季の家
TREKKLING (トレックリング)	氷川郷麻葉の湯 三河屋旅館
VERTERE(パテレ)	PORT OKUTAMA(ポート奥多摩)
ルナ美容院	

今回の経験を通して、生徒一人一人が働くことについて考える機会となり、自分の将来を見つめるきっかけにもなりました。事業所の皆様に温かいご協力をいただき、心より感謝申し上げます。

担当 三浦 実結

奥多摩アクティビティ

3年生 氷川キャンプ場

7月14日、3年生がバーベキューを行いました。多摩川を吹き抜ける風と、涼しげな水の流れる音を聞きながら、夏らしい楽しい思い出がまた一つ増えました。

今回は、修学旅行の行動班で役割を分担し、火おこしや調理等を協力して行いました。汗をかきながら仲間と力を合わせて焼いた肉や野菜を「おいしい」と言いながら食べる生徒の笑顔がとても印象的でした。締め焼きそばも、手順を工夫したり火力を調整したりと、助け合いながらおいしく作ることができたようです。

暑い夏を乗り越え、受験生として一回り成長した姿が今から楽しみです。

担当 相澤 昌孝



小学校での「総合的な学習の時間」の授業紹介

古里小学校

本校では「地域を愛し、地域の未来を創り出す奥多摩の子」を全学年共通のテーマに掲げて学習を進めています。

3年生の探究課題は「地域の自然と安全な暮らし」です。「ぼくもわたしも奥多摩大使」の学習では、地域の自然や施設、人々と積極的に関わりながら体験や調査活動を行っています。



3年生
ワサビの植え付け

4年生の探究課題は「地域の魅力と町に住む人々」です。「お年よりとなかよくなろう」の学習では、シルバーコート丹三郎の皆様との交流を通して福祉への理解を深め、学んだことを地域に発信する活動を行っています。



5年生の探究課題は「地域の産業とそれに携わる人々の思いや願い」です。「私たちの森林を守ろう」の学習では、林業体験を通して奥多摩町の森林環境について学んでいます。

6年生の探究課題は「地域の未来と自分たちの生活」です。「奥多摩プロジェクト」の学習では、地域の方々のお話を伺いながら、奥多摩の未来についてじっくりと考える学習に取り組んでいます。

これから地域の皆様との連携を大切にしながら、子供たちが地域に愛着と誇りをもち、たくましく育つ教育活動を進めていきます。今後ともご支援・ご協力のほど、よろしくお願いいたします。

これからの地域の皆様との連携を大切にしながら、子供たちが地域に愛着と誇りをもち、たくましく育つ教育活動を進めていきます。今後ともご支援・ご協力のほど、よろしくお願いいたします。

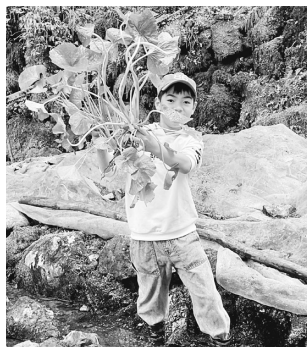


5年生 林業体験

氷川小学校

3年生の探究課題は「奥多摩の動物たち」です。自然豊かな奥多摩に住んでいる子供たちですが、実は身近にもたくさん動物たちが住んでいることには意外と気付いていませんでした。本やインターネットで調べるだけでなく、これから実際に自然にふれたり、ビクターセンターや地域の人々と関わったりしながら、リアルな奥多摩の動物の姿を追っていきます。

4年生は奥多摩学習の一環として、ふれあい農園でわさびの収穫、植え付け体験をさせていただきました。新聞にまとめ、保護者に向けて発表しました。その後、SDGsについての調べ学習を行いました。今後は、奥多摩学習とSDGsとを関連付けて、さらに広い視野をもって探究活動に取り組んでいきます。



4年生 わさびの収穫

5年生の探究テーマは「食品ロス」です。奥多摩から日本、世界へと視野を広げ、食品ロスの現実や課題、それらを減らす工夫を調べていきます。持続可能な未来に向け、自分たちに何ができるかを考えていきます。



6年生 氷川獅子

6年生は今年も「氷川獅子」を探究課題に設定して学習を進めています。先輩方が創り上げてきたこれまでの氷川獅子を受け継ぎながら、自分たちの代にしかできない氷川獅子にするにはどうすればいいかを試行錯誤しながら探究しています。今後は運動会やふれあい祭りでの発表に向けて準備をしていきます。

教育委員会委員の

学校・保育園訪問

町教育委員会では、毎年町内の小・中学校及び保育園に訪問しております。

この訪問は、子供たちの学校生活や授業の様子、施設の状況などを見学させていただくとともに、小・中学校や保育園における現状と課題について情報や意見交換を行い、今後の教育行政に活用させていただくことを目的に実施しております。

今年度は6月22日に氷川保育園、氷川小学校、奥多摩中学校を訪問しました。氷川保育園では、改修した園庭など、氷川小学校では、図工の授業など、奥多摩中学校では、外国語指導助手（ALT）を活用した英語の授業などを見学しました。

6月25日に古里保育園、古里小学校を訪問しました。

古里保育園では、保育指導の様子を見せていただき、古里小学校では、算数の授業などを見学しました。

また両日のお昼には、各小学校で児童と一緒に給食を食べ、児童との意見交換も行いました。

▼奥多摩中学校 英語の授業



▼古里小学校 算数の授業



▼古里保育園 保育室にて



▼一緒に給食 子供たちと団らん



▼氷川小学校 図工の授業



▼氷川保育園 園庭にて



✿教育相談室より✿

得意を生かし苦手を工夫

スクールソーシャルワーカー

川俣ひとみ

私には小学生の孫がいます。夏休みの保護者面談で「国語の読みに苦手があり他の教科にも影響している」と言われたと親は落ち込んだり心配したりしていました。

日頃の彼女を見ていても、歌やダンスが上手、友達とも楽しく遊べていて、困っている様子は感じられません。

ただ、興味あることには熱中できるのに、興味の無いことや苦手な事は「めんどくさい」と言っただけから挑戦しない事を残念に思っていました。

そこで、夏休み前半「宿題を早く終わらせて、気分良く夏休みを満喫しよう」をキャッチフレーズに、私との宿題会に誘ってみました。大好きなシール交換やカラオケをご褒美にしたこともあり、すぐに快諾してくれました。

理科は大好きな教科で、すでに終わっており、丸つけからでした。がほぼ満点。その答えを選んだ理由まで解りやすく得意げに説明してくれました。私自身も「なるほど」と教えられることも多く、大絶賛で褒めちぎりました。

さて、国語のコーナーに入ると案の定、体をくねらせ嫌々モルド。

そこで、読みが苦手な彼女のため「物語は私が読むから、しっかり聞いてね。」と伝え、読み終わった後、クイズ形式に設問を読み上げると彼女はスラスラと楽しそうに回答し正解していきましました。苦手なことは省いてあげることも一つの手法と実感しました。

これまた苦手な社会科では、絵の得意な彼女と、世界地図と日本地図の神経衰弱カードを作り、楽しく遊びながら、ドリルの穴埋めと自由研究の一石二鳥を果たせた素敵な夏の思い出です。

☆小江戸川越へハイキング参加者募集☆

埼玉県川越市、江戸の情緒を今に残した小江戸川越のレトロな蔵造りの街をハイキングします。街並みを楽しみながら、人気の神社仏閣を巡ります。

【開催日時】10月31日(土) ※雨天中止

役場前7時30分、文化会館前7時45分出発予定

【交通】片用バス

【対象】町内在住・在勤 小学生以上の健脚な方
(3時間程度歩ける方) ※小学生は保護者同伴

【参加費】一人1500円(交通費等)

【募集人員】20名 ※初めての方を優先させていただきます。

【申込方法】9月25日(金)～10月16日(金)まで電話受付

【主催】奥多摩町スポーツ推進委員会

【申込・問合せ先】教育課 ☎ 83-2246

☆おくたまふれあい第65回加藤旗争奪駅伝競走大会

参加チーム募集☆

【開催日時】12月13日(日) 9時古里小学校校庭にて開会式

【大丹波コース】(11km) 3区間3名(一般男子・一般女子の部)

【川井コース】(6.4km) 2往復1.6km×4区間 4名(小学生男子・女子の部、中学生男子・女子の部、一般男子・一般女子の部)

【参加費】大丹波コース 1チーム3000円、

川井コース 1チーム2000円 ※小・中学生チームは無料

【申込方法】詳細は町ホームページをご覧ください。

【申込期限】11月20日(金) 17時まで

【申込・問合せ先】教育課 ☎ 83-2246

図書館を活用しよう

新しい本のご紹介

一般書

ゾンビ回収婦(芥川賞受賞作)

小砂川 チト 著 講談社

けんぐわい(直木賞受賞作)

朝倉 かすみ 著 光文社

鋼鉄のレガシー

堂場 瞬一 著 講談社

シャドーゲーム

真山 仁 著 文藝春秋

夜の喜劇

東川 篤哉 著 東京創元社

おうちで麻辣湯レシピ

石神 秀幸 監修 Gakken

児童書

あのひのまたあした

岡田 千晶 絵 金の星社

ライチヨウのいのり

村上 康成 作 アリス館

おくたまコラム

聞く・みる

「空気のきれいな奥多摩」

教育委員 大串 千代

我が家では、ペルセウス座流星群(8月13日頃)と、ふたご座流星群(12月14日頃)の流星数が増える年2回、午後10時過ぎに空を眺めます。大抵、10分間程眺めていると、流れ星を観ることが出来ます。先日、

「流れ星を観たことのある人?」という、高校の授業での問いに手を挙げた息子が、
「流れ星を観たことのない友達が多くて、驚いた。」と話しました。家の前の川では、

梅雨時にはモリアオガエルが心地よいリズムで鳴き、7月上旬には蛍が飛び交います。

どれも、奥多摩にいるから体験できていることで、都心にいた時には叶わないことでした。

短時間でも、ゆったりできる時間の流れや空気の流れを感じつつ、深呼吸できる奥多摩です。



5年生伊豆移動教室へ

7月9日～10日実施

古里小学校と氷川小学校計16名が、合同で伊豆移動教室に行ってきました。本行事には、「体験や見学を通して、伊豆の自然や産業を学ぼう」、そして「古里小学校と氷川小学校が一緒に生活を通して、さらに友情を深めよう」という2つの大きな目標がありました。1日目は沼津港の防災施設である水門を見学し、2日目は富士山世界遺産センターや白糸の滝、鳴沢氷穴を訪れました。子供たちは奥多摩とは異なる海の環境の豊かさや富士山にまつわる大自然の迫力を肌で感じていました。2日間の寝食を共にする中で、子供たちは主体的に行動し、互いに助け合いながら友情を深めることができました。この移動教室で得た新たな発見や気づきを、今後の学校生活に大いに生かしてほしいと願っています。

担当 泊谷 尚徳



6年生日光移動教室へ

7月23日～25日実施

今年度も古里小学校と氷川小学校計24名が、合同で日光移動教室へ行ってきました。

1日目は、華厳の滝を見学しました。華厳の滝では雨予報にも関わらず晴天に恵まれ、滝の全貌を見ることができました。例年に比べて水量は少なかったですが、迫力ある自然を肌で感じることもできました。

2日目は、戦場ヶ原をハイキングしました。奥多摩の自然とはまた違った広大な湿原を味わいながら、仲間とともに気持ちよく歩き、大きな達成感を得ることができました。

3日目の日光東照宮見学は、楽しみにしている子も多く、陽明門の壮大さ、三猿の物語、ガイドさんの話など、事前に調べたことについて実際に見たり聞いたりしたことで、学びを深めていました。たくさんさんの思い出と成長したことを大切にしなが、残りの小学校生活を充実させていきます。

担当 宮本 拓馬



神津島洋上セミナー 8月17日～20日実施

今年度は、台風接近の関係で大型船の出航が危ぶまれましたが、無事に実施することができました。小学生27名、



中学生11名、ボランティアなど、総勢48名が参加しました。島の自然にふれながら、黒曜石ストラップ作りや海水浴、また赤崎海岸では、島の子供たちと合同で、シュノーケリングや飛び込みを楽しみました。お互いの地域の魅力を伝え合う場なども見られ、更に親睦を深めることができました。

学校施設 消防設備安全点検

避難器具の再確認をしました

都内で起きた小学校の火災事故を受け、町内小・中学校において、学校施設の消防設備の安全点検時に、避難器具の使用方法的な再確認を行いました。



氷川小学校での様子

